

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	ポートランド州立大学夏期英語研修プログラムのための基礎調査				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	澤崎 宏一
	研究分担者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	澤崎 宏一

講演題目	ポートランド州立大学夏期英語研修プログラムのための基礎調査
------	-------------------------------

<p><b>研究の目的、成果及び今後の展望</b></p> <p>国際関係学部は、部局間協定を結んでいるポートランド州立大学（PSU）に対して、夏休み期間中に初めて英語研修生を派遣した。派遣に先立ち、国際関係学部生に対して、短期英語留学のニーズに関する潜在ニーズ調査をおこなった。以下にその結果を報告する。</p> <p>潜在ニーズ調査会は、国際関係学部生 878 名に対して、ユニバーサルパスポートのアンケート機能を用いて行った。調査期間は 2023 年 4 月 11 日から 5 月 12 日の約 1 ヶ月であった。その結果、149 名（17%）から回答が寄せられた。参加内訳は、1 年生 82 人、2 年生 24 人、3 年生 31 人、4 年生 12 人であった。主要設問 5 問の回答詳細は次のとおりである（設問 2 以降は複数回答可能）。</p> <p>設問 1：英語学習のための短期留学への希望について。 希望あり（97 人：65%） 希望なし（38 人：26%） 分からない（14 人：9%）</p> <p>設問 2：上記「希望あり」回答者のうち、本学協定校のどこに留学希望するかについて。 PSU（53%） UC サクラメント（51%） UC デービス（50%） ビクトリア大学（72%） 協定校に興味なし・わからない（25%）</p> <p>設問 3：上記「希望あり」回答者のうち、協定校以外での留学希望（短期英語研修）について 英語圏（50%） 非英語圏：欧州（32%） 非英語圏：アジア（27%） 非英語圏（その他）：（6%） オンライン留学（13%） わからない等（6%）</p> <p>設問 4：上記「希望あり」回答者のうち、留学時期の希望について 1 年（22%） 2 年（68%） 3 年（60%） 4 年（22%） わからない等（11%）</p> <p>設問 5：上記「希望あり」回答者のうち、留学決定の重要な判断材料について 費用（88%） 留学国（71%） 研修内容（62%） 研修日程（36%） 学校（15%） 協定校か否か（10%） コロナの状況（5%） その他（1%）</p> <p>これらの結果から、学生は、2、3 年生の時に英語圏の協定校での短期留学を望んでいることがわかった。さらに、留学費用や研修内容も、留学先を決定する重要な判断材料となることが示された。</p> <p>PSU は、語学研修先としての期待値は非常に高いことがわかったが、実際に PSU 研修に参加したのは 1 名のみであった。PSU への参加者が少なかった一番の原因は、参加費用が他の英語圏の研修先に比べて割高である点と、円安による渡航費・参加費高騰が例年と比べて顕著であったことがあると思われる。ただし、留学終了時に参加学生から聞き取り調査をしたところ、プログラムの内容も滞在での経験も、満足度の高いものであったことが伺えた。</p>
--